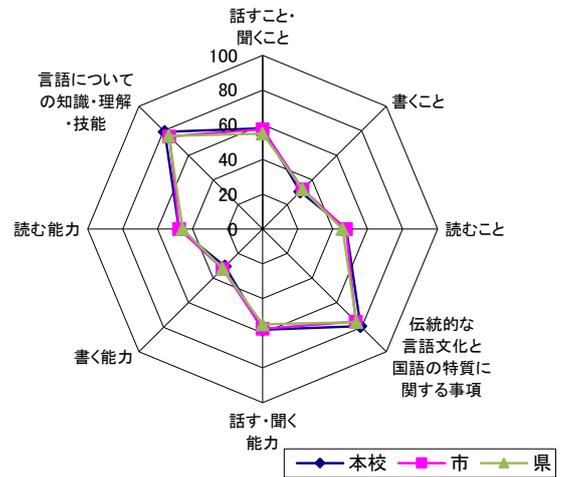


宇都宮市立富士見小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	58.0	57.5	54.9
	書くこと	30.5	32.3	32.3
	読むこと	47.9	47.7	45.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	79.1	75.3	75.8
観点	話す・聞く能力	58.0	57.5	54.9
	書く能力	30.5	32.3	32.3
	読む能力	47.9	47.7	45.7
	言語についての知識・理解・技能	79.1	75.3	75.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>○本領域の平均正答率は58%で、県の正答率を3.1ポイント上回った。</p> <p>○「理由を挙げながら筋道を立てて話す」の正答率は、81.5%であり、県の正答率よりも6.2ポイント上回っている。</p> <p>●「話の中心に気を付けて聞き、自分の意見を述べる」の正答率は23.5%で県の正答率を0.1ポイント下回っている。話し合い全体の流れをつかみ、意見に即した理由を記述する力に課題がある。</p>	<p>・話し手の意図を正しく聞き取った上で、自分の意見を述べる力がつくような指導を充実させる。</p>
書くこと	<p>●本領域の平均正答率は30.5%で、県の正答率を1.8ポイント下回った。</p> <p>○文章構成を理解して、分かりやすいレポートを書くために大切なことは理解している。</p> <p>●「メモをもとに、報告レポートに記述する内容を考えて書く」の正答率は35.3%で、県の正答率よりも4.5ポイント低くなっており、課題がある。また、「メモや友達の意見を基に、報告レポートのまとめを書く」の無回答率は39.5%で、県の無回答率よりも15ポイント高くなっており、他の記述式の問題も無回答率が高くなる傾向がある。伝えるべき内容を把握して文章を書くことに課題がある。</p>	<p>・国語の学習や総合的な学習の時間等を通して、目的や相手を意識しながら必要な内容を文書の形式に即して書かせる指導を繰り返し行うようにする。</p>
読むこと	<p>○本領域の平均正答率は47.9%で、県の正答率を2.2ポイント上回った。</p> <p>○文学作品の「登場人物同士の関係や物語上での役割を捉える」の正答率は34.5%であり、県の正答率よりも14.7ポイント上回っている。</p> <p>●説明文の「目的に応じて文章を要約する」の正答率は63.9%であり、4.2ポイント下回っている。大切な言葉に注目して、文章全体の内容を捉えることに課題がある。</p>	<p>・今後とも読書活動を推進し、いろいろな分野の文章に触れる機会を作る。</p> <p>・説明的文章の読解では、文章を読み解く際、キーワードや接続詞等に気を付けながら要点をまとめたり、段落と段落の関係について考えたりしながら筆者の考えを的確につかめるように丁寧に読む指導を繰り返し行うようにする。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>○本領域の平均正答率は79.1%で、県の正答率を3.3ポイント上回った。</p> <p>○「漢字の読み」の正答率は93.3%で、県の正答率を7ポイント上回った。</p> <p>●「文の主語になる語句、述語になる語句の類別」の正答率は64.7%であり、県の正答率よりも10.7ポイント下回った。文法の理解に課題がある。また、漢字の書き取りにおいては、一部正答率が低くなるものもある。</p>	<p>・漢字の読み書きについては、繰り返し学習し、漢字テストなどを通してチェックをしながら基礎・基本の定着を図る。また、文法については、ワークシートを活用し、繰り返し指導する。</p>